



# 新小山市民病院ニュースレター

Shin-oyama City Hospital News letter

Vol.25

## 1 副院長挨拶 ～ 周術期の歯科治療と口腔ケアの整備 ～

気管挿管中の患者における誤嚥性肺炎の抑制には口腔ケアが有効だということとは以前より認識されており、すでに多くの病院で看護師さんを中心とした日常的な口腔ケアが取り入れられています。当院のように院内に歯科がない病院でも、HCUなどの誤嚥性肺炎のリスクの高い病棟では担当看護師による定期的な口腔ケアを行うことはなかば常識的となっています。そのような中で、国のがん対策基本法の改正とがん対策推進基本計画に、「医科歯科連携による口腔ケアの推進」が盛り込まれたこともあり、歯科のある病院の多くでは周術期口腔機能管理に取り組んできています。（ここでいう周術期とは全身麻酔手術前後だけでなく、化学療法や放射線療法などの侵襲的治療をも含みます。）

現在適応は、イ）頭頸部領域、呼吸器領域、胸部領域、消化器領域等の悪性腫瘍の手術、ロ）心臓血管手術、ハ）人工股関節置換術等の整形外科手術、ニ）臓器移植手術、ホ）造血幹細胞移植、ヘ）脳卒中に対する手術や化学療法を受けている患者、放射線療法を受けている患者となっています。また、2016年度診療報酬改定からは緩和医療（終末期・在宅がん患者）に対しても周術期口腔機能管理が導入されました。

具体的には気管挿管時の歯の損傷、経口気管チューブの圧迫による褥瘡性潰瘍、術後肺炎、口腔咽頭の創部感染（SSI; surgical site infection）、さらに心臓の人工弁や人工関節などのインプラント埋入手術では口腔細菌による遠隔部位感染（RI; remote infection）の対策が挙げられます。さらに化学療法中の口腔粘膜炎などの口腔有害事象への対応や口腔内環境作りも含まれます。したがって周術期の口腔ケアにとどまらず、合併症を回避し口腔機能維持増進に努めることが可能となります。

当院でも、手術症例の増加、特に消化器がん手術の増加、心臓手術の増加、整形外科手術の増加や化学療法を受ける患者の増加を鑑みると、連携する歯科医療機関を介しての口腔ケアは患者への待ったなしのところに来ていると考えています。

現在、院内に歯科のない病院でも連携する歯科医療機関との間で周術期口腔管理が可能です。当院も早急に、手術前患者、化学療法を受けている患者、緩和の必要な患者に対し導入していきたいと考えています。

令和元年6月

新小山市民病院 副院長・外科部長 栗原克己

## 2 TOPICS 小児救急患者の受入れについて

当院では、小児の救急患者受入につきまして、平日・土曜日の時間を延長し対応して参りました。本年4月より、日曜日、祝日につきましても小児輪番に関係なく、22時まで延長し対応させていただいておりますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

対応時間：平日 外来診療時間終了後～22時00分まで

土・日・祝日 9時00分～22時00分まで

原則、救急搬送患者および紹介患者に限る

※ なお、救急の受入状態によってはお断りする場合がございますが、御了承くださいますようお願い申し上げます。



### 目次:

|                |   |
|----------------|---|
| 副院長挨拶 .....    | 1 |
| 新任医師紹介 .....   | 2 |
| 臨床研修について ..... | 3 |
| お知らせ .....     | 4 |

### ハイライト

- 小児救急の受入れ対応時間を、日曜・祝日も22時まで延長しました。
- 3月4月に着任した新任医師をご紹介します。20名が入職して全員は載せきれませんので、代表者3名からご挨拶とさせていただきます。
- 患者支援センターからは、平成30年度の紹介・逆紹介率をグラフにしました。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。

## ポットラック カンファレンス 地域完結型 医療・連携の会

今年度の開催予定日をお知らせいたします。

詳細は、演題が決まりましたら従来通りご連絡させていただきます。

たくさんのご参加をお待ちしております。

## ポットラック カンファレンス

偶数月、第1火曜日  
19:45～ さくらホール①②

お菓子、飲み物を用意してお待ちしております。

6/4、8/6、10/1、

12/3、2/4



## 地域完結型 医療・連携の会

奇数月、第3木曜日  
19:15～ さくらホール

軽食をご用意しております。

7/18、9/19、11/21、

1/16、3/19



## 新任ドクターの紹介

3月、4月採用の新しい医師を紹介します。総勢20名の医師が、新たに着任しました。ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。



腎臓内科  
部長  
菅生 太朗

当院腎臓内科では、腎炎や急性腎障害をはじめ慢性腎臓病、腎代替療法（血液透析、腹膜透析）の治療を中心に行っております。腎臓疾患でお困りの症例がありましたら、ご紹介いただければ幸いです。微力ながら、お力になればと思考しております。今後とも、よろしくお願いいたします。



形成外科  
部長  
櫻井 淳

私は平成31年4月より、新小山市民病院形成外科部長として着任しました櫻井淳（さくらい あつし）です。昭和53年新潟大学医学部を卒業し脳外科を4年半研修後、東京大学や東京警察病院にて形成外科の研修を受け、平成2年より東京都立大塚病院にて形成外科の臨床を約30年間（平成31年4月まで）行っていました。この度、自治医科大学形成外科吉村浩太郎教授のご助力もあり、当院にて形成外科診療を行わせて頂くことになりました。

これまでの5,000例以上の臨床のEBMを生かし、安全で確実な形成外科臨床を一生懸命行っていく所存です。ほぼすべての形成外科疾患（体表の変形や腫瘍・顔面骨骨折・眼瞼下垂・先天性変形・乳房再建など）を取り扱いますので、お困りのことがあれば是非ご紹介いただきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



耳鼻咽喉科  
部長心得  
高橋 さとか

平成31年4月から新小山市民病院耳鼻咽喉科に赴任いたしました高橋さとかです。島根大学卒業後、自治医科大学で研修し、耳鼻咽喉科に入局いたしました。1年間の予定での派遣です。

近隣病院の先生方と連携して一般的な耳鼻咽喉科診療を行いながら、大学病院とも連携して鼻科、耳科、頸部腫瘍などの手術加療も幅広く対応していきたいと考えております。

お困りの症例などお気軽にご相談いただければと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。



糖尿病・代謝内科  
部長心得  
岡 聖典



麻酔科  
部長  
寺尾 一木



呼吸器内科  
医員  
内山 歩



消化器内科  
副部長  
日高 康博



循環器内科  
副部長  
菊池 達郎



小児科  
副部長  
齋藤 貴志



麻酔科  
副部長  
時任 利奈



内科・総合診療科  
医員  
鈴木 紘史



呼吸器内科  
医員  
新井 直人



消化器内科  
医員  
所 晋之助



消化器内科  
医員  
関口 裕美



神経内科  
医員  
長岡 理沙



循環器内科  
医員  
佐藤 雅史



小児科  
医員  
小黑 希理



外科  
医員  
松宮 美沙希



形成外科  
医員  
中川 志保



整形外科  
医員  
澤村 英祥



## 臨床研修について

副院長・神経内科部長 川上忠孝



これまでに医師の臨床研修制度については様々な変遷もありましたが、平成16年度から2年間の初期研修が必須となっており、内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療が必須とされています。この臨床研修を行う施設には、基本的に自前で臨床研修を完結する『基幹型臨床研修病院』と、基幹型臨床研修病院と協力することで研修の一部を実施する『協力型臨床研修病院』の2つに大別されます。当院は自治医科大学附属病院の協力型臨床研修病院に指定されていますが、県内の他の一般病院（足利・那須・芳賀日赤、上都賀、宇都宮済生会、しもつが、佐野厚生等）のような基幹型臨床研修病院にはいまだに未指定のままの状態です。

当院でも時々初期研修医が在籍していますが、これは最近新制度が発足した『専攻医（専門医を目指す制度）』と同様、現時点では大学からの派遣と言う立場になっております。当院としては、自病院での初期臨床研修医を確保すべく、『基幹型臨床研修病院』の指定を受けることが最重要課題の一つとなっております。大学への『おんぶにだっこ』に甘んじることなく、自病院採用の研修医を確保することで、あわよくば将来の病院スタッフ・幹部も養成したいという夢も抱いている次第です。

医師会の先生方におかれましては、当院での臨床研修体制が確立した暁には、御子弟に当院で研修を受けて戴くことで、当院と医師会との架け橋となり、より確固たる協力体制が確保できるものと考えております。今後の進捗状況を見守って戴ければ光栄に存じます。



## 患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

### 医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・  
その他地域連携に関すること)

### 予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経  
内科・循環器内科の受診予約・  
胃カメラ・心エコー・腹部エコー  
などの検査予約)

### 医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ  
と・MSWに連絡・その他、外来  
患者の各種相談に関すること)

### FAX：

0285-36-0352

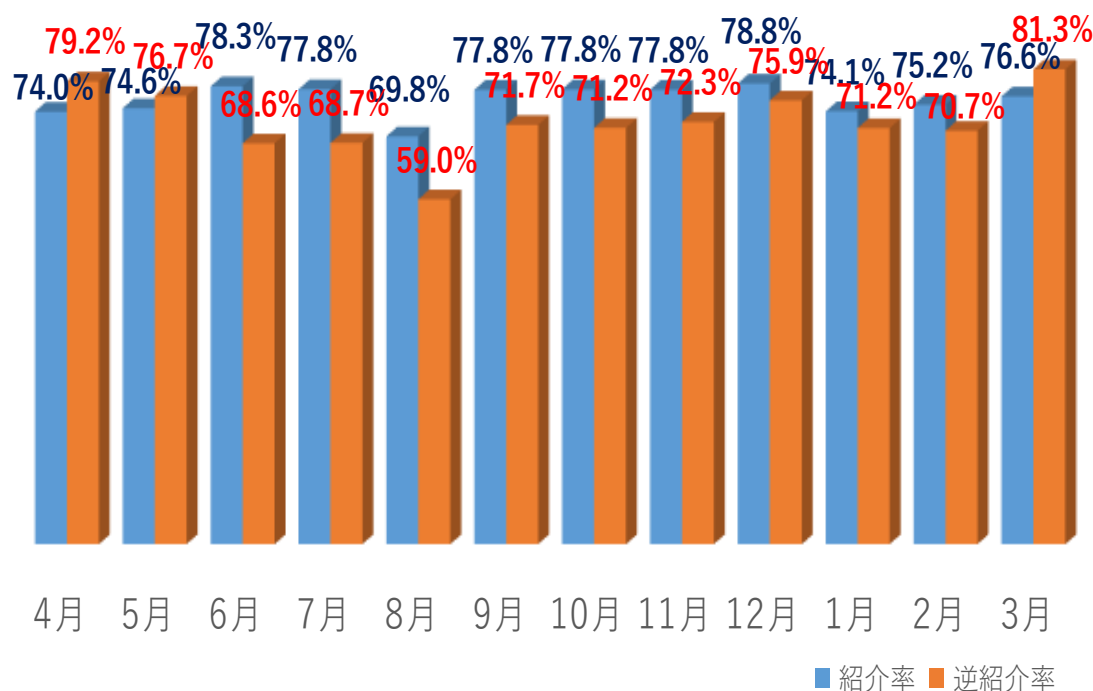
### メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

## 患者支援センターからのお知らせ

いつも当院運営にご協力頂きありがとうございます。



## 第19回 地域完結型医療・連携の会

5月16日（木）、『地域完結型医療・連携の会』が開催されました。

今回は、外科・呼吸器内科・心臓血管外科の症例でした。

院外の先生方13名、院内の医師16名、看護師・コメディカル・他27名（計56名）  
とたくさんの方に参加していただき、活発な意見交換ができました。

次回は、7月18日（木）19時15分より、当院2階さくらホールにて開催致します。  
診療科は、消化器内科・小児科・皮膚科です。ご参加お待ちしております。



## 地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 （代表）

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

<https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>

